

与謝野晶子通信

潮の遠鳴り



文化学院蔵

与謝野晶子倶楽部設立25周年を振り返って

与謝野晶子倶楽部副会長 田中 和子



与謝野倶楽部が
発足して早や25
年を迎えまし
た。振り返って
感想はと聞かれ
ても『与謝野晶子
さんの偉大さを思い知らされます』
と答えます。本倶楽部20年の軌跡は
設立20周年機関誌「潮の遠鳴り」第
2章にドキュメントとして本当によ
くまとめられています。

設立10周年記念時、晶子のふるさと「堺」を詠った歌の中に晶子ゆかりの大鳥大社に寄せた歌を見つけたときの嬉しさが込み上げて来ました。和泉なるわがうぶすなの大鳥の宮居の杉の青き一むら
12月7日の晶子の誕生日に田辺聖子名誉会長の書による晶子歌碑が建立され除幕式が厳かに行われました。当日は、小雨降る中で大鳥大社の宮司を斎主とする神事に続いて、森藤子さん、浅野脩子さん、鳳理子さん等の縁者によって除幕式が行われました。第2部記念講演会は、難波利三前会長による「晶子を誇る」でした。
1年後、堺市立上神谷小学校創立100周年記念碑（与謝野晶子文学碑）が建立されました。上神谷地区（泉北）では明治20年頃たくさんの

松茸が取れ蜜柑山もあり、晶子が堺の町に暮らし幼き日々のこと、学校や友達のこと、生まれた家のことを懐かしく綴った晶子唯一の自伝作品『私の生いたち』の中で、「たけ狩」は1日も忘れることができなかつた思い出として、松茸山で両親と兄弟、番頭さんと楽しく過ごしたことが書かれています。

丁度その頃、私は森藤子さん、浅野脩子さんを私の住んでいる泉北ニュータウン若松台地区の小谷城址を説明して国宝の桜井神社に参拝、宮司様が在宅であったので写真を見ながら歴史や文化の話をお聞きしました。すぐ近くに上神谷小学校があることに気づき向かいました。森藤子さんがすつかり景色に魅せられて動こうとされませんでした。こんなに大きい鳥居が建ったことはご存じないことを思うと込み上げるものがありました。その後、PTAの皆様との交流も終わり夕焼けの美しい和泉の山々と別れました。そしてもう50年も住んだこの泉北の地に与謝野晶子文学碑が建立されたことを心から喜んでいます。

与謝野晶子倶楽部紹介

与謝野晶子倶楽部は全国の晶子研究者や歌人、愛好者などで、平成9年に堺市で創設されました。堺に生まれた与謝野晶子の業績・生き方について広く市内外に発信し、与謝野晶子の顕彰事業を行っています。さかい利晶の社を中心に、晶子フォーラムや晶子入門講座、短歌セミナーなど分かりやすい講座を開催していますので、ぜひお気軽にご参加ください。

ギャラリー展 「アートで彩る晶子の姿」



▲泉陽高校作品

今年も与謝野晶子にちなんだ絵画・書道・文芸などの多岐にわたるアート作品を展示することができました。令和4年度ギャラリー展は5月14日から開催予定です。

会期 令和3年10月6日(水)～10月11日(月)

会場 さかい利晶の社 2階企画展示室等

出展 【書道】浜ちどり会 松澤照栄 石崎信子

【絵画】和田武子 石崎洋興 坂本福治

【文芸】泉陽高校文芸部



企画室全体写真

与謝野晶子倶楽部事業紹介

文学踏査 令和3年10月6日(水)

『みだれ髪』の萌芽をもとめて
鉄幹・晶子がすごした堺と大和川

行程



▲安養寺にて
△大和川にて

少年時代、養子に出された鉄幹が暮らした大阪堺での三年間、そのころ商家の娘として暮らす晶子は7歳と幼く、まだ出会う前の二人がそれぞれに過ごした大和川周辺から堺市内を路面電車と徒歩で辿りました。各所で聞く貴重なエピソードに鉄幹・晶子への思いを深める旅路となりました。

参加者の声

田中 香津子

鉄幹の直筆と望郷
秋晴れというより、真夏に近い暑さの中を、鉄幹の養子先、安養寺から、鉄幹が通っていた住之江の進學堂・祐真寺まで歩き、ご住職より、学籍簿に残る鉄幹の「安藤寛」という署名を拝見し、ほのかな感動を覚えました。祐真寺を後にし、大和川を渡って堺の町に向かう途中、左手に葛城・金剛の山並みが見え、後年、鉄幹がその光景を懐かしんで詠んだ詩を思い出しました。水野鍛錬所では、若いご当主の伝統を守ろうとする心意気が、晶子と鉄幹の情熱に通ずるように思えて、胸が熱くなりました。この日の行程は、晶子と鉄幹の出会いの原点となる場所であったことに改めて気づきました。

晶子入門講座 全3回

晶子の作品や生き方を学ぶ「晶子入門講座」、9月は檀原みずすず講師(新型コロナウイルス感染拡大のため中止)、10月はたつみ都志講師、12月は勾欄子講師と当倶楽部運営委員の各講師によるそれぞれのテーマに沿った全3回講座です。

第2回晶子入門講座 講師：たつみ都志
テーマ：与謝野晶子に学ぶ
～仕事人・妻・母をまっとうした100年前の超人～
日程：令和3年10月24日(日)

参加者の声

中川 健一

愛の奔放さ、女性解放、家計の苦労等今の時代でなく明治の時代の中での力強さに驚くばかり。私は鉄幹と晶子の孫世代、この祖父母と生活してたら好きだったか、避けてたかな？と。たつみ先生の男女関係の語りには、引き込まれた一時でした。

第3回晶子入門講座 講師：勾欄子
テーマ：与謝野晶子と新聞短歌～理想と戦争のはざままで～
日程：令和3年12月12日(日)

参加者の声

山手 和子

勾欄子先生の「理想と戦争のはざままで」の講演に、時間はあつというまに過ぎました。コロナ禍にあつて小さな一つ一つのことを大切に歩んで行きたいと思いました。

短歌を楽しむセミナー

短歌づくりを通して晶子の魅力に触れる、小西美根子講師による(10月～翌年1月)全4回連続講座です。

参加者の声

櫻淵 陽子

楽しい時間
小西美根子先生は良い所は誉め、直した方が良い所は作者の気持ちに寄り添いながら添削をされるので、とても勉強になりました。「上達のコツは沢山の短歌を作ること」この言葉を胸に刻み短歌を作り続けたいと思います。

さかい利晶の杜 青春の短歌大会

与謝野晶子倶楽部運営委員 勾欄子

昨年度から始まった「さかい利晶の杜」青春の短歌大会。今年は新型コロナウイルスの感染爆発と募集期間が重なったにもかかわらず、全国の高校生から7,449首もの応募がありました。特に1、2年生のみなさんにとつては高校生活のすべてがコロナ禍に覆われ、思い描いていた学校生活との相違を詠んだ歌が多く寄せられました。困難な状況下で、短歌という表現形式に昇華させたそれぞれの思いに、多くの共感が集まることと思います。入賞者の作品を紹介します。

選者(歌人・宮中歌会始選者) 今野 寿美氏

大賞

夢みてた生活の日々まぼろし「普通」の言葉特別と知る
小林樹奈(静岡県立浜松湖南高等学校)

与謝野晶子倶楽部賞

暗い部屋天井見つめ僕を見た見えるものを見えぬものを見た
篠虎太郎(京都府立朱雀高等学校)

堺歌人クラブ賞

ありがとう当たり前にも日々感謝何気ない日もまた一度きり
木下和奏(大阪府立鳳高等学校)

さかい利晶の杜賞

シャープンを持つと感じる重力はスマホなどより絶対重い
山田侑星(静岡県立浜松湖南高等学校)

堺市長賞

今はもう愛おしくさえ思えるよ雨の日に待つ長蛇の列が
船井徳佳(大阪府立住吉高等学校)

堺市教育長賞

夏祭り勇気をだした告白は花火の音に負けてしまった
田島 汐理(京都府立朱雀高等学校)

最優秀校賞

大阪府立鳳高等学校
ほかに6名、入選63首。

投稿のコーナー

『与謝野晶子の世界』に私の短歌が掲載されて

堺市 坂中 祐介
令和2年、さかい利晶の杜で開催された「短歌を楽しむセミナー」に参加していました。短歌に対して自信がなかった私ですが、なんと、『与謝野晶子の世界』に自作の短歌が掲載されました。あの、『与謝野晶子の世界』を読み、なんと仰せられたのかと想像します。今後は、田辺聖子さんの著作や、『源氏物語』も落着いて読んでみたいと思っています。

短歌の力

宮城県 遠山 勝雄

私は、東日本大震災では、妹を始め旧友など本当に多くの大切な人々を失いました。そんな空虚な生活を過ごすなかで、偶然にも与謝野晶子先生の歌集を手に入れました。

ひと枝の野の梅をらばたりぬべしこれかりそめのかりそめの別れ

という歌にめぐり逢いました。勿論この歌がご主人との一時的な別れを惜しんでのものであることは解説されていたので理解できましたが、不思議に私の心に残る歌で、「私が抱える悲しみは単なる肉体的な別れであり、やがては私の心に返ってくるのでそれを迎える事が大切なんだと理解することになりました。そのことが私を短歌のとりこにしましたのでした。「かりそめ」の反省によって悲しみを乗り越える力を与えてくれました。短歌の力を知らしめてくれた気がします。

「白桜忌」発足にまつわる想い出

吹田市 川内 通生

堺の人・与謝野晶子は明治11年(1878)12月7日に生まれ、昭和17年(1942)にその生涯を閉じた。堺の誇りとも言うべき晶子についての顕彰は、わが「与謝野晶子倶楽部」や「さかい利晶の杜」等の努力・尽力のもとに行なわれていてまさに同慶の至りである。近年とみに著しい晶子顕彰の大きな一歩は昭和57年5月29日13時30分より覚応寺(堺市堺区九間町東3丁1番40号)で実施された第1回「白桜忌」にあつたのではないかと。堺生まれの私も「白桜忌」第1回発起人会からメンバーとして参加させていただいた。

晶子の命日の5月29日に実施する「白桜忌」の内容はどのようなものにするか、色々と本質的、具体的な内容に及んで、十人足らずの発起人会は回を重ねる毎に深い有意義な議論となつた。そんな私の隣にいつも座して親しく言葉を交わして下さつたのが覚応寺ご住職たる河野正伸氏であつた。晶子ゆかりの人、河野鉄南の甥御にあたる阿氏とは、「五」と「現」という違いはありながら「府立高校国語科教員」という共通項のせいもあり、よく言葉と心が通じた。数度の発起人会を経て、いよいよ第1回「白桜忌」の当日を迎えた。発起人会メンバー全員の間心事は、何人の人がお集まりになるかということだったが、会場の本堂はもとより、境内に設置したパイプ椅子も足りない位多くの人が参集して下さつた。その時の感動は、心にも今も熱い。その後、年号も平成・令和と変わり、あの第1回「白桜忌」もすっかり遠いものとなつてしまつた。万感の思いと言ふべきか。河野氏と話題にしてはいた剣道の立ち合いも実現できぬまま限りなく敬愛する河野正伸氏も他界なさつてしまつた。

さかい利晶の杜 ニューズ

与謝野晶子記念館 企画展紹介

与謝野晶子×吉田初三郎 企画展

「与謝野寛・晶子夫妻の旅」

パノラマ地図でたどる観光名所

期間：令和3年11月20日(土)～令和4年1月23日(日)

与謝野寛・晶子夫妻は、生涯にわたり数多くの旅に出ました。二人の足跡は国内にとまらず海外にまで及んでいます。寛五八歳、晶子五三歳の昭和六(一九三一)年は、夫妻で旅した回数が多い年でした。この企画展では、同年の北海道・九州・四国の旅に注目し、夫妻が訪れた昭和初期の観光名所をたどりました。

五月の北海道の旅は、講演会や懇話会に招かれ、函館や旭川をめぐっています。また、一〇月の九州の旅は、「別府観光の父」油屋熊八に手のひらの大きさを競う大学大会の賓客として招かれたものでした。与謝野夫妻は、パノラマ地図作成者として著名な吉田初三郎や東京の文士らとともに、別府のイベントを盛りあげました。一〇・一一月の四国の旅は、多くの高等女学校や師範学校で印象的な講演を行い、多忙なかで四国の名所を訪ねています。夫妻がめぐった昭和の観光名所を、夫妻が詠んだ歌と当時の景色を描いた吉田初三郎のパノラマ地図等によって紹介し、当時の観光文化についても言及しました。新型コロナウイルス感染症の拡大のことで、行動を制約されているわれわれの生活ですが、与謝野夫妻の旅をたどる本展をおとささやかな旅気分を感じていただければと願って企画・開催しました。(矢内一磨)



10月1日、大学大会祝賀会の前に遊覧自動車で別府地獄めぐりを楽しんだ一行の海地獄での記念写真です。立っている人物のうち、右から4人目が晶子。その左隣が寛、二人の前の和服の男性が吉田初三郎です。

『晶子さかい拾遺—鳳しやうの和歌』について

当館では、与謝野晶子倶楽部と館蔵品研究を中心とした共同調査研究を行っています。令和三年三月には晶子の堺時代の和歌に焦点を当てた研究を行い、その成果を調査報告書として公表することができました。令和四年三月にも堺時代に焦点を当てた報告書の刊行を計画しています。ご期待ください。(矢内一磨)

期間：令和3年11月20日(土)～令和4年1月23日(日)

「人吉応援プロジェクト」



令和2年7月豪雨災害における熊本県人吉市の応援プロジェクトのトークショーの様子。被災当時の旅館の様子やお客様への想いなど、貴重なお話を聞かせて下さいました。また堺シティオペラによるコンサートも行われ、音楽を通して友好の証・応援のパワーが届けられました。2階の与謝野晶子記念館前に坂本福治氏(人吉市)の作品も展示されました。



坂本氏作品
貴重なお話を聞かせて下さいました。また堺シティオペラによるコンサートも行われ、音楽を通して友好の証・応援のパワーが届けられました。2階の与謝野晶子記念館前に坂本福治氏(人吉市)の作品も展示されました。

「朗読&音楽ワークショップ」

日時：令和3年11月27日(土)



晶子さんの世界に触れ、音を作り、発表会に向けて一緒に作品を作り上げる楽しさに満ちたひと時となりました。今後もこの催しは継続しますのでお楽しみに！

晶子フォーラム2022のお知らせ

与謝野晶子倶楽部設立25周年記念事業 晶子フォーラム2022

(主催:与謝野晶子倶楽部 共催:さかい利晶の杜)

日程:令和4年6月4日(土)14時~16時(予定)

会場:フェニーチェ堺 小ホール

参加費:会員500円、一般1,000円、学生無料

内容:第1部 合唱「晶子の歌」

(出演:泉陽高校音楽部、ヴォーチェ・コン・カローレ、Chor.Draft、コル・いづみ(有志))

第2部 対談とフリートーク

講師:道浦母都子氏、聞き手:たつみ都志氏

テーマ:ジェンダーから見た与謝野晶子

同時開催 ガラリー展「アートで彩る晶子の姿」

会期:令和4年5月14日(土)~6月5日(日)

※華道は6月4日~5日の2日間のみ

会場:さかい利晶の杜 2階企画展示室半室、

1階茶室 ほか

内容:晶子倶楽部会員によるギャラリー展

観覧料:一般300円、高校生200円、中学生以下

100円(専用ハガキをお持ちの方は無料)

◆その他行事予定

・「晶子入門講座」短歌を楽しむセミナー(4回連続講座)

令和4年9月から12月にかけて開催

・一泊文学踏査 令和4年秋に和歌山方面で開催

・第3回さかい与謝野晶子青春の短歌大会 令和4年6月初旬募集開始

※詳しくは4月以降に「与謝野晶子倶楽部」または「さかい利晶の杜」のホームページをご覧ください。

各部会からの活動報告とお知らせ

企画・普及部会

松泉 晶子

今秋は新宮(和歌山県)方面への一泊文学踏査を実現させたいと企画しています。与謝野夫妻ゆかりの佐藤春夫記念館や西村伊作記念館などを見学し、学習を深め、相互の交流を交わりたいと考えています。コロナ禍のためバス利用が困難な場合は日帰り踏査に切り替えたいと思います。多くの方のご参加を歓迎します。

組織拡充部会

城本 多鶴子

今後の課題として、団体会員や若い世代の個人会員の獲得をしていく必要があります。令和3年度は、若い世代向けに晶子倶楽部の活動を紹介するチラシを用意し、第2回さかい与謝野晶子青春の短歌大会個人応募者に対し郵送しました。今後は、敷地に歌碑を設置している団体に勧誘を進めたいと思います。

調査研究部会

太田 登

平成29年12月に堺市と締結した「覚書」から5年がたちましたので、博物館との共同調査研究を継続するために、「覚書」を更新します。令和3年度は、二つの企画展と図録の作成に協力しました。この5年間の共同研究の歩みとその成果は、年度末に発行される報告書「故郷と父母」を読むに盛りこまれています。

編集部会

羽野 文男

機関誌(通巻46号)は昨年未発行しました。晶子の「大逆事件にからむ随筆」、「西洋画への憧憬」、「源氏物語」の翻訳、さらに「与謝野寛(歿後論)」、「晶子・寛の肖像」など、様々なテーマ・新しい分野の論考を掲載しました。倶楽部事務局、「さかい利晶の杜」で購入出来ます。次号は本年10月末の予定。新生面を開く機関誌にご期待下さい。

運営調整会議

小西 美穂子

コロナ禍により、さかい利晶の杜は一時休館を余儀なくされ、令和3年度はイベント等の中止や縮小をせざるを得ませんでした。堺市博物館、堺市文化振興財団、堺観光コンベンション協会など関係団体と情報交換を行い、多角的な見地からの晶子顕彰をめざし、展示、講演、講座等楽しいイベントの発信を今後も積極的に行っていきます。

イベント紹介

16回明星研究会「与謝野寛・晶子を偲ぶ会」(与謝野晶子倶楽部共催) 『みだれ髪』から『白桜集』まで、歌の大河を語り合う~晶子没後80年~

- プログラム 第一部 いま「白桜集」に迫る一堺市・与謝野晶子記念館から
マ「白桜集」は寛への鎮魂の書であった 太田登(天理大学名誉教授・与謝野晶子倶楽部会長)
マ「随筆『故郷と父母』から晶子の思いを語り解く」矢内一悟(与謝野晶子記念館学芸員)
マ「白桜集」の名歌を堺の言葉で朗読する 勾つ子(歌人)
- 第二部 3歌人が語る「私が出会った晶子短歌」大森静佳 染野山樹 山本礼子 司会:米川千嘉子
- 日時:4月3日(日) 14時から16時30分 ●場所:Zoomオンラインで開催
- 参加申込:Googleフォームで、右記からお申し込み下さい。定員300名で先着順 <https://bit.ly/3nClTtC>
- 申込大切:4月2日(土)20:00 申込者にZoomのアクセス先をメールで前日までに送信

演劇公演「晶子からあなたへ」作・演出 阿笠 清子 後援:与謝野晶子倶楽部

- 日時:令和4年10月2日(日) 14時開演
- 会場:堺市立東文化会館

倶楽部からのお知らせ

投稿募集! 「あなたの晶子物語」を教えてください。

「夫の寛と共に全国を旅した晶子。晶子が立ち寄った場所に残る晶子ゆかりのお話を聞かせてください。」と前号でお知らせしましたところ、たくさんのエピソードが寄せられました。投稿者の晶子物語を皆様と共感できれば幸いです。誌面の都合上ご投稿いただいた記事のすべてをお載せできず申し訳ございません。来年発行予定の与謝野晶子通信第3号へのご投稿をお待ちしております。

「与謝野」町雑感 玉木 雄三

帰り来て家は無けれど与謝郡ゆく方はみな父のふるさと

1931(昭和6)年11月下旬、与謝野寛と晶子は講演と短歌会のために四国を旅行し、その帰路、寛は父礼蔵(れいごん)の追念碑の除幕式に出席するため故郷丹後を訪れました。冒頭の歌はその折りに詠まれたものです。

礼蔵は1823(文政6)年、細見儀右衛門の次男として丹後国・与謝郡温江(あつえ)村に生まれ、出生地に因んで「与謝野」と名乗りました。

現在の京都府与謝野町は、2006(平成18)年に与謝郡の加悦町・岩滝町・野田川町が合併してできた町です。その際、与謝野寛・晶子に因んで「与謝野」町と命名されたと言われていました。

地元を走る京都丹後鉄道宮豊線の与謝野駅は、JR西日本時代では丹後山田駅、次いで北近畿タンゴ鉄道では野田川駅、そして2015(平成27)年に現駅名となり、「美心(うつくしごころ)与謝野」の愛称で親しまれています。

また当地には、1887(明治20)年創業の老舗、与謝娘酒造があります。代表銘柄は「与謝娘」。まさに晶子です。



▲与謝野町

ヨサムス▶

- ・投稿していただいた方に、抽選で晶子グッズをプレゼントします。
- ・晶子グッズ、関連書籍の販売、倶楽部入会のご案内
一筆箋などの晶子グッズ、機関誌、歌碑巡りなどの書籍の販売をしております。商品詳細はホームページをご覧ください。
- 倶楽部ご入会につきましては、事務局までお問合せください。



◆新刊情報

「与謝野晶子『選者の歌』の表現世界」

読売新聞に掲載された晶子自身の「選者の歌」と婦人短歌と謝野晶子選を再構成した新修版です。

歌集「風に吹かれて」尾崎 由子

人生が「別離」と「邂逅」であることを誰よりもよく知る尾崎由子の秀歌



編集後記

第2号となる、今号は、投稿のコーナー、倶楽部事業参加者の声など、読者の皆さまの晶子への想いを多く掲載できました。没後80年になる今なお、我々の心の中に生き続ける晶子。この与謝野晶子通信も、晶子と共に愛される存在になりたいと願っております。

問合せ先 与謝野晶子倶楽部事務局 〒590-0078 大阪府堺市堺区南瓦町3番1号堺市文化庁文化課内
TEL:072-228-7143 FAX:072-228-8174 MAIL:info@yosanoakiko-club.com HP:<http://www.yosanoakiko-club.com>

与謝野晶子通信 第2号 編集・発行:与謝野晶子倶楽部 運営委員会

